

学校だより

ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

自分の子どもに どういう教育をするのですか？

～教育講演会開催(1)～

海外子女教育情報センター INFOE 代表の松本輝彦先生と茗溪学園中学校高等学校長の柴田淳先生をお招きし、教育講演会を開きました。

約90名の保護者が参会し、先生方から熱心にお話を伺いました。

松本先生から、まず、「世界中で行われている教育改革は、ヒューストンで生活しているみなさんの子どもにもいろいろな影響を与えている。」という内容の話がありました。

OECD が実施している生徒の学習到達度調査 (PISA) と、日米両国の学力テストについて説明を受けました。



PISA と呼ばれる調査は、OECD に加盟している国の多くで義務教育終了段階にある15歳の生徒を対象に調査するもので、10年前から3年に一度実施されています。日本で行われている全国学力テストは、昨年、約50年ぶりに再開され、小学校6年生と中学校3年生を対象に行っています。このテストはA問題(知識力を問う問題)とB問題(知識活用力を問う問題)の2種類に分かれています。

日本は、PISA の成績が回を重ねるごとに下位になっていることで、教育改革の方法として、全国学力テストに新しい学力＝「知識活用力」を問う問題を取り入れています。

アメリカ合衆国は、PISA の成績では世界の低位グループに入るそうですが、マサチューセッツ州などは、世界のフィンランドよりも高いということでした。アメリカ合衆国も同様に国の統一試験があり、その結果が先生・学校・ISD の評価になるため、学校ではテストのための勉強時間が増えているということでした。内容から、日米両国ともに競争原理が導入されていることがわかります。次号に続きます。

第2回漢字検定実施



最近、漢字検定のPRを積極的に行わなくても受検者が増えてきました。親子で一緒に受ける家庭も増えてきています。

漢字を学習すると、たくさんの情報を、より分かりやすく、より速く、より正確に頭に入れることができるようになります。これは、漢字を学習する小学校1年生の児童から当てはまります。

例えば、「ひらがなだけの文」と「漢字仮名交じり文」とでは、次のような文章を理解する際、大きく違ってきます。早口言葉を引用します。

A わたしのいえのうらにわには、にわにわとりがいる。

B 私の家の裏庭には、二羽鶏がいる。

このように、「ひらがなの文」と「漢字仮名交じり文」を比較すると、どちらが頭の中に入りやすいのかよくわかる。また、ひらがなは、それぞれ一つひとつの文字、例えば、「や」「ま」は意味を持たないが、漢字は、その一字だけ「山」で意味を持ち、相手に内容を伝えることができるものです。

「漢字仮名交じり文」の分かりやすさを1年生の子どもたちに理解させることは、国語を学んでいく上で基礎・基本になることはいまでもありません。

小学校1年生で80字、2年生で160字、小学校で1006字の漢字を習得することになります。

新学習指導要領では、漢字の習得に時間がかかるという実態を考慮し、読みの指導は現行どおりとし、書きの指導は2学年間という時間をかけて、確実に書き、使えるように指導することになっています。

しかしながら、1年で学習した漢字は、2年で書ければよしという考えでは漢字検定は合格しません。受検、合格、次の級を受検・・・受検は国語学習の動機付けになります。現地校の生活が落ち着いた人は、ぜひ、第3回の漢字検定に挑戦してください。

次の文は、敬語を誤って使っています。正しく直した文にしてください。

○ 弟にこの本を見せてあげてください。

「～してあげる」は目上の人に対して用いる謙譲語なので、自分の弟に対して使うのはまちがいになります。

「弟にこの本を見せて（ ）ください。」
（ ）内にはどのような言葉が入るでしょう。

十年一昔（じゅうねんひとむかし）と言われますが、敬語に関して言えば、十年前に、「人間関係と敬語」「場面と敬語」について調査が行われています。もっとさかのぼれば、敬語については、世間で言葉が乱れてきたと言われ出した頃から、それまで以上に注目され、取り上げられてきたので、一昔前のことではないように思います。

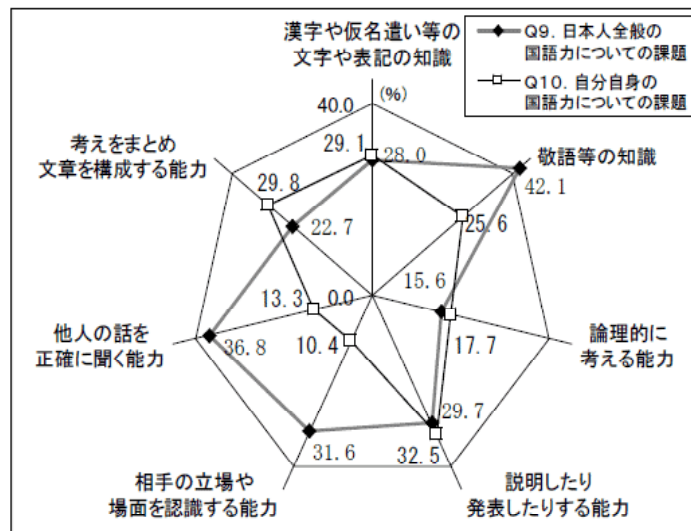
さて、中高生諸君は（ ）内に言葉を入れましたか。

正しくは、「弟に見せてやってください。」になります。

「国語に関する世論調査」(2)

先週の続きになります。文化庁は全国の16歳以上の男女約2000人から、日本人全般の国語力の課題について尋ねたところ、「敬語等の知識」(42.1%)、他人の話を正確に聞く力(36.8%)、相手の立場や場面を認識する力(31.6%)など、主にコミュニケーションに関わる国語力に問題を感じている人が多いという結果が出ていました。

上の文は、謙譲語が誤った使われ方をしている文を取り上げました。「国語力の課題」として、特に昔も今も変わらない「敬語」は、私たちが生活する上で欠かすことができない“言語の知識”として身につけておかなければならないものの一つであると言えるのではないのでしょうか。

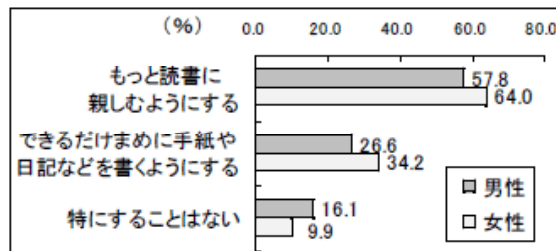


一方、個人の国語力の課題について尋ねたところ、「説明したり発表したりする能力」(32.5%)、「考えをまとめ文章を構成する能力」(29.8%)、「漢字や仮名遣い等の文字や表記の知識」(29.1%)など、主に、社会で求められる実務的な能力が重視されている結果が出ていました。

日本人全般の国語力についての課題と自分自身の国語力についての課題を比べたのが、左下の表です。他人に対してはコミュニケーション能力の向上を求め、自分自身は、より実務的な能力に課題を感じているという傾向がうかがえます。

～国語力向上のためにしたいこと～

国語力向上のために個人的にどのようなことがしたいと思うか尋ねたところ、「もっと読書に親しむ」と回答した人が最も多く61.1%。同じ問いかけをした平成13年度も「読書」が67.6%でトップになっており、国語力向上には読書が効果的であるという考えは根強いものがあることがわかります。



“個人の国語力の課題”の上位3つの回答や“読書”は、国語教育の充実を目指す補習校にとって、まさに、今補習校で行っている学習そのものです。

子どもたちに、漢字や仮名遣い等の文字や標記の知識を増やし、表現する能力を高めていくことが補習校の役目であると再認識させられる調査でした。

◆パトロール当番予定表11月22日◆

～よろしくお願ひします～

学年	順位	児童生徒氏名
★AM1 リーダー	小3	7 杜 ニコラス 燐
	2	8 高倉 堇
	3	9 水野 妃菜穂
	4	10 デビッドツツ ジリアン
	5	11 長谷川 巴菜
	6	12 山田 琴乃
	7	13 百足 直樹
★PM1 リーダー	14	全 梨蓮
	2	15 納 昂人
	3	16 原口 雅隆
	4	17 君塚 優香
	5	18 ミトラ 健
	6	19 ベイシガー 伽羅
	7	20 立石 優莉亜